



プロジェクト名称

Hoper's

プロジェクト活動概要

Hoper's はものづくりをキーワードに2つの目的をもって活動している。①「"ものづくり"サイクルを経験する。」②「"ものづくり"を通して大学と地域の架け橋となる。」である。①「"ものづくり"サイクルを経験する」とは、ものづくりを実際の会社のチームプロジェクトの体験をする。具体的な活動は、①に関しては小型惑星探査ローバーを製作しています。②に関しては、アウトリーチ活動として子どもたちむけに工作教室を開催しております。

プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 種子島ロケットコンテスト Cansat ランバック部門で優勝
- ② 工作教室で新規プログラムを行い年間参加者 250 名以上
- ③ 新たに3つ以上の団体企業と協力して工作教室を開催

①に関しては、3月に開催される大会の優勝に向け、機体のコンセプトや設計指針となるものをメンバーで話し合い、優勝できる機体となるよう設計・製作を進めています。

②に関しては、9月30日までに3回の工作教室を開催し、合計で117名の子どもたちに参加していただくことができました。ペットボトルロケット工作以外のプログラムはまだ開催できていないが、新規プログラムについての話し合いは行っており、開催に向けて進めていく予定です。

③に関しては、新たに東大宮自治会寿クラブの方々と協力して、工作教室を開催することができました。大宮地域での工作教室開催は、当団体として初めてのことで大きな一歩を踏み出すことができました。

活動状況報告 & 活動写真

活動期間：2016年6月21日～9月30日

I. Cansat 製作活動

ものづくりサイクルを経験し、自分たちがものづくりの楽しさを実感するために、Cansat という小型惑星探査ローバーを製作しています。

週1回の定例会で、機体についての話し合いを行い、活動してきました。活動の前半は、新メンバーに、Cansat 製作に必要なCAD、電子回路、プログラミングの体験をしてもらいました。そして、前回大会に出場した機体と同様のものを製作してもらい Cansat についての基礎知識をメンバー全体で共有しました。

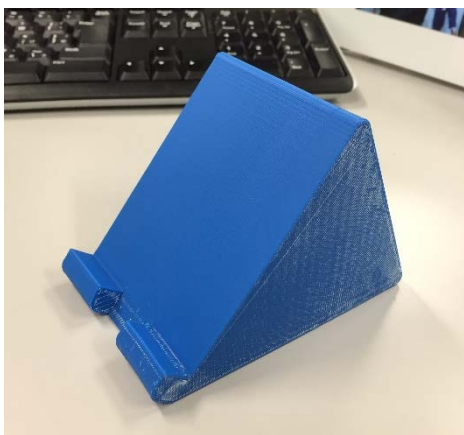
その後は、新たに製作する機体のコンセプトや設計指針となるもの各チームに分かれて話し合いを進めていきました。



定例会の様子



CAD 体験会の様子



CAD 体験会で製作したスマホスタンド

II. アウトリーチ活動

アウトリーチ活動として、子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えるために工作教室を開催しています。9月30日までに3回の工作教室を開催することができました。

第1回工作教室は6月26日に豊洲キャンパスにて、ペットボトルロケット工作教室を開催しました。25名の子どもたちに参加していただきました。

第2回工作教室は8月12日にららぽーと豊洲にて、同様にペットボトルロケット工作教室を開催しました。事前予約の段階でほぼ定員いっぱいになり、当日も各回大盛況で、キャンセル待ちの方も出るほどでした。75名の子どもたちに参加していただきました。

第3回工作教室は8月23日に東大宮自治会寿クラブの方々と協力し、東大宮自治会館で同様にペットボトルロケット工作教室を開催しました。当団体として初めて大宮キャンパス周辺地域での工作教室を開催することができました。

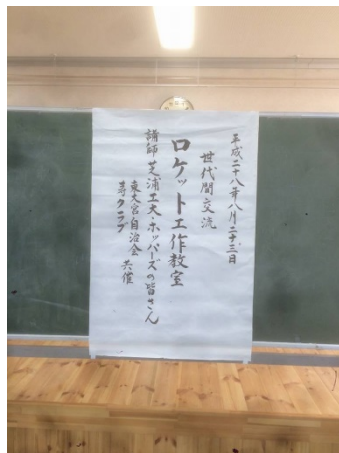
また、9月24日には豊洲水彩まつりに参加しました。ペットボトルで作ったランプシェードにLEDのキャンドルライトを、形をつくるキャンドルアートの製作に携わさせていただきました。今回は、豊洲の街から見えるものをテーマに“スカイツリー”“飛行機”“レインボーブリッジ”のデザインのものを製作しました。



第 1 回工作教室の集合写真



第 2 回工作教室の様子



第 3 回工作教室



豊洲水彩まつり

今後の活動計画、目標、意気込み

Cansat 製作活動に関しては、年間の目標である 3 月に開催される「種子島ロケットコンテスト Canst ランバック部門」で優勝できるように、機体の案を出し合い、設計・製作していきます。

アウトリーチ活動に関しては、目標である 250 名以上の子どもたちに参加していただけるよう今後も工作教室の開催を行っていきます。次回は、毎年開催させていただいているメリーポピンズ豊洲ルームでの開催を予定しています。

今後も活動を通して、芝浦工業大学の認知度向上、イメージアップができるよう誇りをもって活動していきます。